広報
# さめがわ
昭和57年
1月号
No. 337
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

## 江竜田団地の朝明け

谷を埋め山を削りてここに拓く江竜田団地の朝の静もり
五百年の栄枯はいわず枝延べて郷の鎮めの高砂の松
筑波嶺を炉辺に見つと語りたるわが友垣の偲ばるる朝

曙峯



江竜田、西野沢集落は戸数18戸、わが村の南西端に位置する。四周を山にかこまれ、耕地は谷あいの低湿地が多く、農業経営上困難が多かった。

昭和54年阿武隈山系開発事業の一環として、集落の前面をさえぎる山地を削り、谷を埋めて、一望の広大な農耕地を造成した。

その面積34.2ha に及び、新しい農畜一体の複合農業に、新時代の陽ざしが輝き初めている。

- ⊙ 1月6日　消防出初式
- ⊙ 1月15日　鮫川村成人式

### 今月の人口
（12月25日現在）

| | | 前月比 |
|---|---|---|
| 人口 | 5,597 | (+6) |
| 男 | 2,788 | (+2) |
| 女 | 2,809 | (+4) |
| 世帯 | 1,137 | (0) |

# 赤い羽根共同募金
# 歳末たすけあい募金

## ご協力有難うございました

昭和五六年度の赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金は、村民皆様の温かいご理解とご協力により目標を上回って達成しました。心から感謝申し上げます。募金の額と使途区分は次の通りです。

◎募金総額　五七九、九六一円
○赤い羽根　三〇四、九六一円
（県共募会へ）
○歳末たすけあい二七、〇〇〇円
（要保護世帯等へ）
○堀川愛生園後援会五八、〇〇〇円
（堀川愛生園へ）

なお歳末たすけあい募金は、しあわせうすい方々に越年見舞金として配分いたしました。

### 歳末たすけあい募金配分内訳

〈居宅対象者〉

| 種別 | 世帯数 | 対象者数 | 配分額 |
|---|---|---|---|
| 要保護世帯 | 22 | 48 人 | 90,000円 |

〈施設入所者〉

| 種別 | 施設数 | 対象者数 | 配分類 |
|---|---|---|---|
| 精薄児施設 | 4 | 4 人 | 12,000円 |
| 養護施設 | 3 | 3 | 9,000 |
| 精薄者援護施設 | 3 | 5 | 15,000 |
| 身障者援護施設 | 2 | 3 | 9,000 |
| 救護施設 | 1 | 1 | 3,000 |
| 医療施設 | 8 | 23 | 69.000 |
| 施設の計 | 21 | 39 | 117,000 |
| 諸経費 | | | 10,350 |
| 合計 | | 87 | 217,350 |

※不足額350円は緊急配分準備金より支出

## 村税完納に感謝
### 「継続二五年 全村完納達成」

昭和五六年度の村税は、一二月二五日に完納となり、継続二五年全村完納の輝かしい実績を挙げられました。

この実績は、二年続きの災害を克服して、納税に対する皆さんの深いご理解と、各区長さん、代理さん、組長さんのご協力の賜で、深く感謝を申し上げます。

昭和五七年度の納税につきましても、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

## 今月の納税

国民年金保険料（第四期分）
納期限　一月二五日

## おめでた

一二月
酒垂　石井　紀子　父石井良夫

## おくやみ

年令　世帯主
下　木之内チカ74歳　本丙一夫

## 村政のあゆみ (33)

## 新しき年 昭和五七年に期待する

村長　石田卯子八



ここに新しく迎える昭和五七年、村民皆様のうえにのぞみ多く、幸多い年でありますことをお祈りいたします。

冷害の二年続きを予想された昨年は、前々年ほどでなかったとはいえ、稲作の減収、たばこ作の思わぬ大減収こんにゃく、林産物の価格低迷など苦難の多い年でありました。

このような中で、既に二万俵の政府売渡米を搬出し、水田再編対策事業に一二八%も協力され、転作大豆や夏秋トマトにすぐれた実績をあげられた農家の皆様に深く敬意を表するものであります。

また不作が二年続いた年次に当って、全納税を完納され、広域農業開発事業の償還金なども繰上げて償還されている村民皆様の真摯なご努力には頭のさがる思いであります。

昭和五七年は災害後遺症もあり容易でない年であることは予想されますが、更に新しい希望を求めて災害を吹きとばし、一層のご精進を期待して止みません。

行政の面では臨調にからむ行政改革が前面を立ち阻んでおります。政府の補助予算は軒並み削減され公共事業はきびしく抑制される中で、村も苦しい対応を迫られるわけであります。

既に村としての行政の見直し、改革の方向づけについては検討を重ねておりますが、目的は活力ある福祉社会の建設を目ざすものでありますから、実効ある簡素効率化の施策を、困難の中から選択実施することに、真剣に取組まなければなりません。

既に実施中の新農構計画や過疎地域振興計画、第三期山村振興計画などの一部変更、繰延べについては、国県から強く求められていますが、可能な限り実施率を上げたいと思います。

新しい年の初めに、村民皆様の一層のご健勝とご多幸を祈り、今年もまたかわらぬ村政へのご協力をおねがいするものであります。



一足早くおもちつき

たのしいお正月早く来い。保育所も幼稚園も一足早いおもちつきをたのしみました。（写真は鮫川幼稚園）



## 年頭にあたって

議長　芳賀喜一

新しい年を迎え、つつしんで村民の皆様がたの御健勝を、お喜び申し上げます。

昨年は国の内外とも多事多難の年であり、世界的には必ずしも平和とは言えない年であり、国内においては財政難のため、行政改革を実施しなければならない、その影響は、まことに厳しいものがあるかと存じます。

本村におきましても二年続きの冷害等の関係で、農作物による減収所得は、経済不況となって、少なからず皆様の生活は容易でなかったことであります。

今年こそは、このような状態から一時も早く脱却するよう皆様とともに力を合せ努力していきたいと思います。

本村議会といたしましても、村財政の許す限り、明るく住みよい調和のとれた、鮫川村をモットーにした村政推進のため、農政・建設・福祉対策等、村民の住みよい、働きがいある、環境づくりに、できるだけの努力をいたしたいものと決意を新たにするものであります。

皆様がたの変わらぬ御支援と御協力を、せつにお願い申し上げますとともに、年の初めに当り、皆様がたの一層の御多幸をお祈りいたしまして、年頭のごあいさつといたします。

## ぼくも　わたしも　もうすぐ一年生

〈57年度新入学児童〉

昭和五七年四月、小学校に入学するお子さんは、昭和五〇年四月二日から昭和五一年四月一日までに生まれたお子さんです。

昭和五六年一二月一日現在の調べでは、入学予定のお子さんは次の八五名ですが、名前が違っていたり、もれていましたら、昭和五七年一月二〇日までに、教育委員会学校教育課（電話九―三一五一）に申し出て下さい。

**昭和五七年度新入学児童**

児童名（保護者名）生年月日順

◇ **青生野小学校　一二名**

▽生田目哲也（忠一）▽金沢裕治（助右門）▽土手内博行（隆男）▽大森伸一（光枝）▽白石孝浩（政敏）▽山形康一（新一）▽武藤玄由（明）▽堀川優（信四郎）▽新妻みゆき（正司）▽岡部順子（照夫）▽岡部重美（重勝）▽土手内智子（利雄）

◇ **渡瀬小学校　一〇名**

▽芳賀正洋（正訓）▽鈴木富男（源一）▽芳賀真一（利弘）▽山形和幸（仁）▽小松敏明（次男）▽鈴木辰弥（隆男）▽中野西恵美（昭）▽山形明子（一雄）▽芳賀久美子（健一）▽蛭田孝代（康之）

◇ **富田小学校　八名**

▽松本和（一治）▽青戸智浩（敏一）▽坂本長生（圭司）▽大平千恵（啓子）▽坂本実（重男）▽鈴木和子（栄）▽矢吹好枝（勝美）円谷恵（鶴男）

◇ **西野小学校　一三名**

▽北條訓（健治）▽矢吹裕次（俊次）▽高坂毅（達雄）▽高坂誠治（治郎）▽矢吹智（肇）▽矢吹智広（賢市）▽吉田朗（文子）▽舟木千春（秀一）▽霜田知子（幸己）▽高坂幸恵（栄一）▽舟木八重子（功）▽藤田奈緒美（文雄）▽高坂由起恵（勝己）

◇ **西山小学校　一二名**

▽我妻清隆（清治）▽関根豊泰（芳包）▽我妻博文（房吉）▽芳賀浩二（栄良）▽我妻貴美子（康夫）▽関根麻貴（茂保）▽関根めぐみ（秀男）▽根本百代（日出雄）▽石井亜矢子（久夫）▽関根久美（一男）▽阿久津はるみ（順一）▽関根美香（啓太郎）

◇ **鮫川小学校　三〇名**

▽柿沼崇（源義）▽芳賀篤徳（一）▽湯坐秀弥（照雄）▽蛭田博（晴夫）▽吉田勝（初男）▽石井幹夫（政光）▽長久保敏美（利生）▽湯田将樹（栄三）▽渡辺裕之（照美）▽前田大助（悦子）▽藤田大樹（洋美）▽松本寿男（啓助）▽三瓶直樹（一太郎）▽中川西清二（一男）▽斉須亮（寛一）▽鈴木章弘（和則）▽鈴木三樹雄（正孝）▽山本秀樹（元次）▽小松由紀（誠一）▽早川桐子（正博）▽鈴木順子（正己）▽佐川和枝（一郎）▽本郷順子（一美）▽緑川エミ子（利雄）▽舟木裕樹（諒郎）▽斉藤淳子（義男）▽円井こずい（義生）▽緑川きみ子（正美）▽鈴木里実（三千男）▽芳賀優子（芳雄）

## 年頭の特別警戒実施

明けましておめでとうございます。昨年中は火災予防にご協力いただきまして厚く感謝申し上げます。

しかし村内では二名の焼死者が発生する火災がありました。

今年こそ無火災を記録するよう消防署では年頭の特別警戒をおこなっておりますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

家族ぐるみで火災予防につとめ明るい正月をすごして下さい。

消防署鮫川分署





# 年生まれ（どし）

## '82 新年の抱負と

### 適確な判断 不惑の心



富田字二反田
松本精一
（昭和9年生）

戌年戊月（昭和九年一一月）生まれ四七・二歳の新春をむかえて一言。

「一犬、形に吠ゆれば、百犬、声に吠ゆ」これは中国のことわざである。一匹の犬がなにかの姿に対してほえると、ほかの多くの犬がその鳴き声に対してほえる。というのは、一人の人が何かほんとうらしいことをいうと、他の多くのものが、わけもなくそれを事実と思って、うわさの種にすることをたとえたことわざで、群衆心理を巧みに表現したものといえよう。極めて複雑化する社会の中で、ものごとを冷静にみつめ、より適確に判断して惑わされず心豊かに努めたい。改まって年頭の抱負ということでもないが、犬にまつわることわざを一つそえて年頭の抱負とする。

村政への期待であるが……

かっては交通に恵まれない地域とされていたが、国道二八九号線が主要道路として開発、この地方は面目一新した。

青い空、きれいな空気、みどりの山々に包まれた美しい自然の景勝地がある。これらの環境を保全しながら、明るく豊かな郷土をめざして村人の共同の努力が続けられている。……本村の発展のすがたが「ふくしま散歩」誌の中で紹介されている。

月並みではあるが「住んでみて良かったといわれる村づくり」の施策の推進を期待する。

### 自由が一番きく時代



赤坂中野字遠ケ作
鈴木文江
（昭和33年生）

今年は、私達の年〝戌年〟です。新しい年の始まりで、すべての始まりなのですから、新しいものずくめ、とにかく何に対しても希望を抱く事が、この時ばかりは可能だと思います。この可能性を秘めて、私達の村に対し、希望を持とうと思います。

私が生まれ育った鮫川村、今までは、いろいろと社会教育面に対して、近代的な山村開発センター歴史民俗資料館、村民運動場など村の人達が、多目的に活用されている施設設備がなされてきた事は私達にとって、とても喜こばしい事だと思います。

私から、もう一つの案として考えてみて欲しいのは、鮫川村の人口が減少の一途をたどるのにつれ一人当りの土地面積は増加するのですから、少しでも、この静かな恵まれた環境を利用して、安全な場所に、公園みたいなものを作ってみてはどうかと思います。子供達が、のびのび遊べるような砂場とか、ブランコを設置したり、老人の憩いの場所みたいな施設があってもいいのではないかと思っています。

明るく住みよい魅力ある私達の鮫川村に対し、大きく期待したいと共に、私達も少しでも、何かの形で、協力してゆきたいと思います。

私達の世代の戌年のみなさん、今が一番、自分の目標に向かって自由がきき、自分の力を、発揮する事ができる年だと思います。一所懸命頑張って欲しいと思います。

そして、良い郷土作りに協力してゆく事を願います。

私も、自分なりに、去年やり残した事、やり遂げなかった事を、今年の戌年に、新しい目標として充実した楽しい一年にしたいと思っています。

### 犬にも根性がある



赤坂中野字新宿
前田　功
（昭和45年生）

今年は犬年、ぼくの生まれた年です。もう一二才になったのだと思うと、もっとしっかりしなくてはと責任を感じます。

それに今年からは、最高学年。下級生を見守り、最高学年としてのはじのない、りっぱな生徒になろうと決心しました。

犬は、だれにでもかわいがられあまえたがりのように思うけど、決して根性がないのではないと思います。

というのは、ぼくの家では今、白い犬が一ぴきいますが、小犬のこ







# われら戌（いぬ）

## 19

# 村政への期待

## ふるさとのご恩に報いよう



渡瀬字田野上
**蛭田藤留**
（大正11年生）

鮫川に生まれ、鮫川に育ってはや還暦を迎えた。何事もなす事なく人生を送って来た自分の過去に、はがゆさを感じている。

青春時代を戦争と言う中に身をていし、青春のかけらもなく、只ひたすらに命令のなすがままに働いた私達の人生。復員して家族の者に接し、周囲の方々の温い手の中で、初めて生きていてよかったと思う。戦後四〇年近くの歳月がたち、私達のふる里さめがわの変化は驚くべき程のものがある。

緑の山にかこまれ、清き流れ、澄みきった青い空、うまい空気、温い人情味、このふる里でまわりの人に見守られつ、育って来たこの御恩返しのため、何とか人のためにつくそうと考えてきたが何も出来なかった。

新年こそ身を投げうって御恩報いがしたいと考える。雪の中にとびはねる犬のように、私の生れ年戌にちなみ人のため故郷さめがわのためお、いに飛躍したいと思う。

私達のふる里鮫川村も集落の点在する広大な中にありながら道路の整備各種公共施設の環境整備等の充実等すみずみまで村行政の恩恵を受けて居りますこと、住民として深く感謝申し上げて居ります。新年度の村政への期待として

1、救農対策の推進について
一昨年の冷害、昨年度の天候不順による各種農作物の不作による農業収入の減、農家の実情に対する村政の施策等

1、農業後継者育成対策について
農業ばなれの目立つ昨今、本当に農業者として取組んで行く若者を育成強化すること。

1、教育に対する村民の意識
鮫川高校の移転改築も内定されたとかきいて居りますが、村にある最高学府としての鮫高に対する村民の関心を高めること。

多くの野菜を、栽培したいと思います。

村の期待としては、児童の通学の事です。私の部落は、小学校まで四キロ、中学校まで約五キロあります。中学生がスクールバスにて通学しており、小学生は徒歩通学です。小学生低学年の子供達の冬期間の徒歩通学、特に小学一年生の入学して間もない時期の通学状況を見るに何か、スッキリしない気持においやられるのは私だけでしょうか。

村当局としては、種々の問題点があるとは思いますが、遠距離の小学生のスクールバス通学を是非実施して欲しいと願っております。

そして最後に、この世に生を受けて二回目の戌年を迎え、仕事に遊びに大いにハッスルしたいと思います。

## 野菜栽培で自給自足



西山字馬場
**鈴木ミチ子**
（昭和21年生）

農家に嫁いでかれこれ一三年、何もかも使い捨ての消費、イコール高度経済成長の感があった頃でした。

現在農家であって、野菜を買って来る始末、インスタント食品が氾濫し、私達主婦にとっては大変便利だと思う反面、何か味気ない思いがしてなりません。先ず、今年の抱負として、野菜類の自給自足を基として、趣味と実益を兼ね

## 戦争に埋れた青春
### その後



西山字棚橋
関根一好
(大正11年生)

今年は五回目の生れ年となってしまった。長い歳月であり、又短い歳月でもある。人生の一区切りでもあり、これからの生き方の第一歩の年でもある。今その足跡を振り返って、よくぞ生き抜いたと思われる。

あの忌わしい戦争の中に青春を捧げ、軍隊、抑留、そして戦後の混乱の中に生きて来た波乱の六〇年であったが、現在の平和が私にとって、何者か得体の知れぬ危機感が、この六〇年の体験の中から感じられるこの頃であります。

戌年生れの私は、本当にそうだと思う。血統証のある犬でなく雑種だろうが、良い主には陰日向なく働くが、不合理な事には吠えつく。だから世渡りは決して上手ではない。それだけに地位や名誉には余り興味がない。裏方や脇役が、私には合った性格であると思っている。

今年は次の出発の第一歩としてこの平和でありながらカサカサして潤いのない社会に、潤いのあることを考えてゆきたいと思う。それには自分の趣味を生かし、仕事を生かし、小さな事でも人の喜ぶ事をしてゆきたいと思う。

かつて、私があの極寒のシベリアに抑留中、兵隊上りの「管野」と言う少尉に世話になった。私は「無事復員出来ましたら御恩返しいたします」と言った時、「関根君それは間違いだよ。恩を返せばそれで終ってしまう。それより一生思い出してくれた方が有難い」と言われた。昨年春、三〇年ぶりに戦友会で会う事が出来たが、その当時の温さが、三〇年の歳月を感じさせない親しみであった。

又故鈴木春詩画伯とは復員後親しい交誼であったが、酒に酔うと「人間は万物の霊長と言われながら、知識も判断力も持っておって暖衣飽食して一生を終ると言うことは情けない。蚕と言う虫は桑を食べ世に役立つ絹を残してゆく。虫でさえそうであるのに、人間はそれに比べて情けない。地位や名誉ではない。生きてきた悔のない徴しを残すべきだ。」この二人の言葉がいつまでも私の心に焼き付いている。この言葉をかみしめて生きて行こうと考えている。



## 追憶から生まれる
### 生活意欲



渡瀬字江竜田
芳賀花恵
(大正11年生)

今年は犬年、子供の頃の雪やこんこんの歌を思い出します。

♪雪やこんこん　あられやこんこん　降っても降っても未だ降り止まぬ　犬は喜び庭かけまわり　猫はこたつで丸くなる

私も五回目の犬年を迎えてこつでまるくなる一時もあるけれどそれじゃ窮屈いやわけないよと歌の文句にあるように元気を出して木の葉を集めて堆肥を造り、村長さんのお骨折りで開発して戴いた農用地の片すみにおいしい野菜を作るのを楽しみにしております。

一昨年は犬のよろこぶ雪に泣かされました。

今年は良い年であってほしいと、思っております。

朝幼稚園にゆく孫を送り出してバスの来るのを待ちながらあちらこちらを眺めて昔を思い出しています。

デコボコ道が舗装されて汚ない堀にU字溝が入れられ浦島太郎が竜宮城に行った時のお話を思い出します。



次に村政への期待は、社会教育であり文化の向上だと考えます。

石田村政三〇年の歩みは、他町村から驚異の目をみはる発展を遂げました。道路網の整備、環境の整備が成されました。各部落にまで集会の場が出来ましたが、これを利用する村民が、気楽に研修勉強が出来なくてはなりません。気楽に利用され、その中から節度や規律が生れなければなりません。建物があって人があるのではなく人があって建物があるものと考えます。

新年は、余裕と巾のある強力な指導により、社会教育文化の向上の芽を伸して頂く事を強く期待いたします。

## 心豊かな人生を



西野字荻ノ沢
増谷ヤス
(大正11年生)

五回目の戌年を迎え考えられることは、今までは子供の教育や家庭の仕事に追われ、人間としてはまことに未熟のまま過ごしてまいりました。

これからは努めて人間の修養に心がけ、たとえ貧しくとも心だけは余裕のある人として一生を送りたいものです。

それから村政への期待と言うほどのものでありませんが、毎年還暦を迎える方に多少なりとも村で記念品を贈呈されることにしてはいかがでしょうか。

します。

このきれいな道を送迎バスで幼稚園に行く子供達は本当に幸せだなあと思います。

これもみな立派な村政のお蔭と深く感謝いたしております。

それから私の家の土蔵の側が五米程残っています。U字溝を入れて戴けたらカーブなので通行する車が安全ではないかと思います。

## 気象災害を畜産で克服



富田字前沼
青戸君江
(昭和9年生)

広報「さめがわ」にことしの干支「戌」年生れとして投稿を依頼され、私の干支がめぐってきたことに気付き人生の半分以上を夢中で過ごし、いま振り返ってみると何をしてきたのか四八年の歳月に疑問を抱きます。

でも、ことしは私の年ですので大いに張り切りたいと思います。

農家にとっては昨年、一昨年の天候不順によって二年続きの農作物の不作で災難な年でありましたが、私は気象災害に最も強いと言われております、畜産に力を入れたいと考えております。

幸い阿武隈開発で造成された牧草地がありますので条件に恵まれております。自給飼料を主とした和牛の繁殖を行ない採算のとれる経営を目指し、夢と希望を持って頑張りたいと思っております。

村においては、道路がすみずみまで整備され、農地は耕地整理が進み田畑に行くのにも自動車で行けるようになり、ほとんどの農地は機械力で仕事ができるようになり、とても便利になりました。

でもこれはどこの村でも同じことだそうですが、農家の長男でさえ、村外に出てしまう。私の期待は夢かもしれませんが、若者の活気であふれる村になれたら鮫川村はますます発展することでしょう。

一歩づつでもいい、そのような村政を新しい年にあたって期待いたします。

## クラブ活動を活発に



赤坂中野字伏木田
鈴木聡子
(昭和45年生)

今年は、わたしたちの年、犬年です。

でも、犬年と言っても、去年の鳥年のように、何のもよおしものもなしで終わってしまうのは、ちょっとさびしい感じがします。

わたしたちも今年は六年生です。六年生ともなれば中学校へはいることの不安がだれだってあるはずです。

そこで村内の六年生、小学生がいっしょになってやる、クラブ活動や、交流会などを作ってみてはどうでしょうか。

習字クラブや、いろいろなスポーツをやるクラブ。マンガクラブやゲームクラブ。

わたしたちにできそうなクラブを開いてみてもいいと思います。

それからほかに子ども会などを作り、ほうし活動なども活発にできたらなあと思います。

きっと同じ学校の生徒だけでなく、外の学校の新しい友達などもたくさんできて、楽しくなると思います。

今までの夏休みの文化財教室などもこれまでいじょうにさかんにやってもらいたいですが、このような学校とはまったく関係のないところでやる活動も、おもしろいと思います。

## ナイター設備や第二村民グランドも



赤坂中野字新宿
須藤宏
(昭和21年生)

私の職業は、滝野屋菓子店と申します菓子製造業を営んでおります。おもに私の店では、結婚式、内祝、新築落成、法事、その他の御菓子を製造し、引箱菓子としてお客様に御利用いただいております。

私の新年の抱負でございますがお客様に喜んで御利用いただける箱菓子を製造し、又新製品を開発販売致し、地域の皆様と一緒に、精神的にも物質的にも豊になられますよう、努力したいと考えております。

そのための一つとして、お客様の要望する事が私の出来る範囲であるならば、かわって便宜をはかり、真心を持ってお客様のサービスに勤めなければ、ならないと思っております。私は、常に地域の皆様のご厚情により、生活が成り立っているのですから、地域の皆様に感謝するとともに、恩返しの意味から地域の皆様に喜ばれる事を実行したいと考えております。

又私は、スポーツ少年団の指導者を勤めて今年で四年目に入りますが、少年団に対しては、指導者として今日までの経験をいかし、子供達(団員)に、スポーツを通して、現在社会問題にまで、発展している青少年の非行その他の諸問題を無くし、健康で思いやりのある、ガマンの出来る身心ともに健全な子供に育つように、他の指導者の皆さんと協力して導いていきたいと思います。

村政への期待ですが、私は、スポーツ愛好者の一人として、又審判員として申し上げたい事は、スポーツは、身心ともに健康になり何よりも多くの友人との交流が出来るからでございます。職業の違う友人と、スポーツを通してのコミュニケーションは、スポーツを愛する者にとって、心の安らぎの場となるからでございます。

私が、村政にお願いする事は、現在の地域社会の変化に伴ない、多くの家庭では、勤労者として昼は生活のために働いております。勤労者とスポーツ愛好者のためにも、夜間でも野外スポーツが出来る施設が必要だと思います。是非ナイター設備をお願い致し、村民に利用させる事を希望します。

次に、村主催のスポーツ大会とか、球技大会の時に思うのですがグランドがもう一ケ所、村民グランドの近くに有っても良いのではないか。何ぜかと申しますと、現在、野球や壮年ソフト等は、村民グランドだけでは消化されず、遠くのグランドに移動しながらでは合理的ではありません。理想論になりますが、スポーツ大会等は、一つの場所で開催され、多くの家族が同じ場所で一緒になって参加し、家族を応援したり、されたりしてする事が最高に楽しく、又盛り上がるのではないでしょうか。

さいわいにして、トレーニングセンターが村民グランドの近くに建設が決定されたのですから、出来ればもう一ケ所グランドが、トレーニングセンターの近くに欲しいものです。

## 後悔することの少ない年に



赤坂中野字新宿
小滝慎一
（昭和33年生）

毎年、新年を迎える度思う事ですが、私は今年こんな年にしようとか、こんな事をしたいとかはあまり考えた事がありませんでした。でも、その場に立って後悔しないようにとは思っています。ですから抱負というよりも、後悔することの少ない年にしたいと思います。

私は昨年何回かの結婚式に招待されました。そしていつも思うのですが、もう少し時間が長かったらもっといいのにと思える場面に出逢います。結婚する二人にとって、たぶん一生に一度の結婚式になるわけですから、思い出深いものにしたいと願っているはずです。他の町村の結婚式に招待されて行くと鮫川もこの位時間があればと友達と話します。今の状態を見ると、後30分時間を延長しても何もさしつかえないと思うのですが、こんなふうに考えている人は少なくないと思いますので村の方でも考えてみてはどうでしょうか。

## NHK・東北民謡コンクール福島県大会
## 出場者募集

NHKでは、毎年東北各地から若い民謡愛好者の出場者を募集し「NHK東北民謡コンクール」を開催していますが、今年も次により開催しますので、ふるってご出場下さい。

◇期　日　一月三一日（日）
◇時　間　午後二時
◇会　場　福島県文化センター
◇ゲスト　小湊美鶴
◇放送日　二月四日（木）午後七時三〇分～八時
▽予選＝一月三〇日（土）午後一時　NHK福島放送局スタジオ
▽出場資格＝福島県に居住している方、昭和二六年三月一四日～四一年三月一二日に生まれた方（一五才～三〇才）
▽出場申し込み＝ハガキに住所、氏名、生年月日、職業、うたう曲目、電話番号を書いて申し込んで下さい。（〆切一月一四日）
▽観覧申し込み＝ハガキに住所、氏名を書いて申し込んで下さい。（〆切一月二〇日）
▽あて先＝〒九六〇福島市北五老内町一－五　NHK民謡コンクール係、電話〇二四五－三五－一一九一

（NHK福島放送局）

## 毎月一〇日は妊産婦健康相談日

助産婦による妊産婦の健康相談日は、毎月一〇日午前八時三〇分から午後五時まで、母子健康センターで開設しております。どうぞ気がるにご利用ください。

## 善意の寄附

このたび、渡瀬字越虫の藤田美好さんから、交通安全対策費にと一万円の寄附がありました。

## 自衛官募集中

◇応募資格　一八才～二五才の日本男子
◇志願手続　役場総務課で受付けます。
◇試　験　身体検査、筆記試験、口述試験
◇初任給　九一、六〇〇円～九六、六〇〇円
◇賞　与　年三回　約四・九か月分

くわしくは、役場総務課までおたずね下さい。

## ゴミの収集日　1月～2月

| 収集コース | 種別 | 収集曜日 | 1月 | 2月 |
|---|---|---|---|---|
| 江竜田～上耕地～木之根～中山～田尻～二反田～反田～彦次郎～前沼～広畑～新宿～湯ノ田コース | 可燃物 | 毎週月・木曜日 | 7・11・14・18・21・25・28 | 1・4・8・15・18・22・25 |
| | 不燃物 | 隔週月曜日 | 11・25 | 8・22 |
| 新宿（新宿橋より）～道少田～宿ノ入～大塩コース | 可燃物 | 毎週火・木曜日 | 5・7・12・14・19・21・26・28 | 2・4・9・16・18・23・25 |
| | 不燃物 | 隔週月曜日 | 11・25 | 8・22 |
| 真坂～茅～酒垂～宝木～水口～官沢コース | 不燃物 | 隔週水曜日 | 6・20 | 3・17 |
| 越虫～青生野～戸草～蕨の草～官代～遠ケ竜～中沢コース | 不燃物 | 隔週火曜日 | 5・19 | 2・16 |
| 石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース | 不燃物 | 毎月第一金曜日 | | 5 |

☆休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
☆ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

## 休日の在宅当番医

| 月日（曜） | 当番医院 | | |
|---|---|---|---|
| | 明倉町 | 塙町 | 矢祭町 |
| 1月1日（金） | 大木 | 車田 | |
| 2日（土） | 藤巻 | 根本 | |
| 3日（日） | 直営診療所 | 厚生病院 | |
| 10日（日） | 和田 | | 慈泉堂 |
| 15日（金） | 阿部 | 石川 | |
| 17日（日） | 藤田 | | 木村 |
| 24日（日） | 勝田 | 中島 | |
| 31日（日） | 菅原 | 車田 | |
| 2月7日（日） | 薄葉 | 根本 | |
| 11日（木） | 大木 | 厚生病院 | |
| 14日（日） | 藤巻 | | 慈泉堂 |
| 21日（日） | 直営診療所 | 石川 | |
| 28日（日） | 和田 | | 木村 |